

## 下関市立吉見小学校の児童がシイタケの種駒打ち作業を体験

令和5年2月21日（火曜日）、下関市立吉見小学校5年生25名がシイタケの種駒打ち作業を体験しました。

これは、次代を担う子どもたちに、森林からの恵みや大切さへの理解を深めてもらうために下関市林業研究会（会長：竹村 勝）が実施したものです。

当日は、竹村会長による森林の役割やシイタケ栽培の話の後、クヌギの原木30本に木槌でシイタケ種駒の打ち込みを行いました。児童たちの熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。

作業を終えた後も、林研会員にシイタケ栽培や森林のことについて児童のほうから積極的に聞いて回るなど、とても興味深そうに林研会員の話を伺っていました。

最後に、児童から「シイタケを育てるためにいろいろな作業があることを教えてもらってよかった」「これまであまり関心がなかったけどキノコや森林に興味がわいてきた」などたくさんの感想があり、児童たちに森林からの恵みや大切さへの関心を持ってもらうよい機会となりました。



シイタケの種駒打ち作業体験



集合写真